

学術情報メディアセンター センター長 美濃導彦教授



どうして京大の情報学科を選んだのですか？

高校時代は遊んでばかりで、大学について何も調べていませんでした。京大ってそんなにいい所だという意識はなかったけれど、京都に住んでいたのも、どこでもいいから近い大学に行っておこうかというのが第一。

情報学科の他に機械系・医学部も考えていました。でも医学部は解剖などが気持ち悪くて。機械は油にまみれたり、土木は暑い中ヘルメットをかぶったりして作業するのが嫌だと思ったんです。「きれいな」工学部はないかと思ったら、ちょうど情報学科があった。コンピュータ

といえば、その頃は神様みたいで、あまりお目にかかれないものだった。空調のきいた部屋にいて、コンピュータを使うとか作るとかいう研究をしたらいいんじゃないかと思って。

でもこれはメインの理由じゃなくて、実は高校時代に勉強がものすごくできる人がいて、試験でいつも負けていたんです。その人が電気に行くというので、同じ学科へ行ってまた負け続けるのが嫌だと思い、電気と似たような別の学科を探しました。そうすると、ちょうどその4年ほど前に情報学科ができていて、コンピュータを研究するらしい、何か面白そうだ、という理由で情報学科に入りました。

大学時代はどんな学生でしたか？

大学は何でも好きなことができる所だと聞いていたので、サークルをしたいと思って、2年間硬式テニスのサークルをしていました。テニスを頑張っても、単位だけは取らないといけなと思って、いかに授業に出ないで単位を取るかということに専念していました。今の学生さんを見ると、授業によく出てくるのでびっくり。

そのかわり試験前の1週間だけは、今の学生さんよりも勉強しましたよ。どうせ授業に出ていないから、授業に出て人からノートをいっぱい借りてきて、何人かで集まって一生懸命読みました。今の学生さんは試験前といっても読んでないでしょ。最近恐ろしいのは、ここを試験に出すよと言ってもできない人。昔は一生懸命そんな情報を探して、試験に出る所を勉強しましたね。そういう時代だったな。

単位を取ろうとして一生懸命勉強する、そうすれば学力がつくけれども、毎日講義に出るだけでは学力がつくかどうかはわからない。講義をする立場になると、講義に出てもらうのはありがたいんだけど。好きなことに精力を集中できるのが学生時代でしょう。何か面白いことを見つけて、それを頑張ったらいいと思いますよ。

プロフィール

昭和31年	京都府に生まれる
昭和53年	京大工学部情報学科卒
昭和58年	京大大学院博士課程修了 京大工学部助手
昭和62年	マサチューセッツ州立大学客員研究員
平成元年	京大工学部付属高度情報開発実験施設助教授
平成7年	同教授
平成9年	総合情報メディアセンター教授
平成14年	学術情報メディアセンター教授

どんな研究をされているのですか？

色々なことをやっていますが、今はコンピュータが安くなったので色々な場所に取り付けようとしています。私はカメラやビデオで取った映像を処理して、何が映っているかコンピュータにわからせようという研究をしていたので、講義室にカメラをたくさんつけて講義を録画して、後でインターネットで公開する「講義のアーカイブシステム」というものを作っています。この研究の目的は、人間同士のコミュニケーションを解析することです。例えば、講義において先生の話が学生が理解しているかどうかを判定できればいいですよ。

実はこの研究は、皆さんにもっと講義でしゃべらないと損だよ、と言おうとしているんです。じっと座って先生の言う

ことを聞いて帰るだけなら、講義に来なくてもいいですよ。インターネットで見られるから。そうすると、講義に出る意味は質問できることですね。この特権はすごく大きいんです。

昔アメリカにいたことがあったのですが、アメリカでは、講義で先生が5分も話すとみんな手を上げて質問しようとしています。教えてもらいに学校に来ているから、わからないことは何でも聞いたらいいという根性でかなりつまらないことも聞くんです。でもその中に面白い質問もあって、玉石混交という感じ。皆さんも授業料を払っているのだから、講義に行って質問しないと損だと思って欲しい。そうすると対話しながら講義が進むので、もっと先生との距離が近づくとと思います。

私も学生時代サボってばかりいて、教養の先生とはあまりしゃべっていません。こうして大学に残っていると京大の

先生方ともお話することが多いのです。学生時代に話していたら人生変わったんじゃないか、と思う位優秀で面白い先生が多くおられます。皆さんが話をしにいけば先生は喜んで相手してくれるから、仲良くなると損だよ。

総合大学の良さは色々な分野の先生や友人に会えることだと思います。年をとっても付き合える友人関係の基礎を作るのが大学時代ですね。京大に来て友人の輪を作っておくと、将来自分も他の人もみんな偉くなって、一大勢力になる。困った時助けてくれる人がいたり、助けてあげたりできる。

講義に出ないで自分で勉強してもいいけれど、時間の過ごし方を自分でマネージメントして、どんな形でも勉強して学問を身に付けてくれたら、単位は後からついて来ます。先生ともいっぱい話して有意義な学生生活を送って下さい。



▲天井のカメラで講義を録画することができます。

メディアセンターをどのようにしていきたいですか？

皆さんの携帯をネットワークにつなぐのも1つの方法かなと思っています。携帯に大学の情報を送るメカニズムを作ったら、学生さんのためになるでしょう。あらかじめ休講がわかっていたら色々な事ができるので。

履修登録もWeb上でできるようにしましょう。全学共通はできるようになっているけれど、今のところ学部はできない。だから学生さんが「何で学部はWebで履修登録できないんですか？」と言ってくれたらいいなど。

皆さんの要望が先生に伝わって改善されるようにするために、もっと大学のことを考えるべきですね。メディアセンターで学生さんの要望を聞く仕組みを作って、要望の多いサービスを実現していこうと思っています。主役は学生さんなんですよ。皆さんが楽しく勉強できる環境を作るのが、メディアセンターの役割の1つですから。

— ありがとうございます。
(Amy)

これからどんな研究をしていきたいですか？

コンピュータによって世の中の動きが速くなり、人間が忙しくなったと思っているんですよ。昔は海外出張に行ったら、もう連絡がほとんど取れなくて、その仕事だけしたらあとはのんびり過ごせた。でも最近は夜にメールを見て日本に返事して、朝早く起きてまた向こうで仕事をして……と、2倍仕事をしないとイケなくなる。困りますよね。情報技術を使ってもう少し人間らしい生き方をするには

どうしたらいいか、考えていかなければいけないと思っているんです。

周りの人ともっとしゃべらないといけないよ、と言っているんだけど、この頃メールが便利で、連絡したい人が横にいてもメールを打つんですよ。その方が他の人にも同時に送信できるので楽ですよ。誰とでもコミュニケーションができるようになって、目の前にいる人の価値が落ちちゃった。もっと目の前にいる人を大事にしてコミュニケーションしないとイケない。一緒にいれば手も握れるし。

はみだし
すてーじ

「はみだしすてーじ」への投稿の仕方が分からない。
⇒分かっているじゃないですか。

(理・3 あの子)
(読者カードの裏ですよ；編)